

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-95	高等学校	国語科	現代文B	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	現 B 339	高等学校 改訂版 現代文 B		

1. 編修の基本方針
<p>教育基本法第2条ならびに高等学校学習指導要領に示された目標を達成し、学習内容の十分な実現達成をはかり得る、やや発展的な教科書として編修した。</p> <p>1. 近現代のすぐれた文章に触れることによって、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、内容について理解を深め、適切に表現する能力を養うことができるよう配慮した。</p> <p>2. 生徒が自主的・主体的に学習活動を行うことにより、思考力・判断力を養い、自発的・創造的な人間形成に進むことができるよう考慮した。</p> <p>3. 現代社会における問題を具体的に扱った教材を意識的に採録して、さまざまな社会的要請に応え得る人間性の育成に役立てられるようにした。</p> <p>4. すべての学習の根幹といえる言語の教育としての国語科の立場を重視し、社会で求められる言語力を身に付けさせるとともに、言語文化の理解と享受を通して、これに親しむことができるよう配慮した。</p>

2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第 章	読書の幅を広げることができるよう、「ブックガイド」を設定した(第1号)。	p216～219
	真理を探究する人間のさまざまなありようを示すことによって、生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した(第1号)。	p8～15, p16～21, p22～34, p163～172
	すぐれた詩を採録し、作品の鑑賞を通して、豊かな情操を養うことができるよう配慮した(第1号)。	p52～55, p56～58, p59～63
	「言語活動」を設定し、具体的な学習テーマと事例を示すことで、生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした(第2号)。	p146～153
	仕事の意味、組織のシステムなど、働くことについて考察した題材を採録し、生徒が自らの問題として考えを深められるようにした(第2号)。	p118～126, p222～224
第 章	近代社会の秩序や理念について述べた題材に加えて、情報技術の発達、消費行動のあり方など、現代の諸問題を取り上げた題材を採録し、生徒が社会の形成と発展について考察を深められるよう配慮した(第3号)。	p64～71, p127～135, p136～144, p206～214, p225～228
	多様な価値観の重要性について述べた題材を採録し、自身と異なる立場からの意見を尊重する態度を身に付けられるよう考慮した(第3号)。	p56～58, p254～265
第 章	生命のあり方やその尊さ、戦争などについて述べた題材を採録し、生徒が倫理・道徳の問題を現実に即して考察できるよう配慮した(第4号)。	p52～55, p59～63, p80～106, p154～162, p174～183, p185～197
	言語論・比較文化論・芸術論を積極的に採録するとともに、我が国の伝統的な文化について述べた題材を採録し、言語文化を中心としたさまざまな文化に親しむ素地が形成されるよう考慮した(第5号)。	p36～41, p42～50, p72～78, p146～153, p220～221

	<p>国際社会の平和と発展について考察を深めることができるよう、現代の戦争や異文化交流の多様な側面について述べた題材を採録した（第5号）。</p> <p>「評論のしるべ」「文学のしるべ」を適宜設定して、国内外の言語文化を解説し、興味・関心を喚起できるようにした（第5号）。</p>	<p>p185～197, p198～205</p> <p>p35, p51, p79, p107, p145, p173, p184, p215</p>
第 章	<p>読書の幅を広げることができるよう、「ブックガイド」を設定した（第1号）。</p> <p>真理を探究する人間のさまざまなありようを示すことにより、生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した（第1号）。</p> <p>すぐれた詩を採録し、作品の鑑賞を通して、豊かな情操を養うことができるよう配慮した（第1号）。</p> <p>「言語活動」を設定し、具体的な学習テーマと事例を示すことで、生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした（第2号）。</p> <p>仕事の意味、社会のあり方など、働くことについて考察した題材を採録し、生徒が自らの問題として考えを深められるようにした（第2号）。</p> <p>近代における社会の秩序や理念について述べた題材に加えて、現代社会の特性や構造、展望について述べた題材を採録し、生徒が社会のあり方についてより発展的に考察できるよう配慮した（第3号）。</p> <p>多様な価値観の重要性について述べた題材を採録し、自身と異なる立場からの意見を尊重する態度を身に付けられるよう考慮した（第3号）。</p> <p>生命・自然のあり方やその尊さ、戦争などについて述べた題材を採録し、生徒が倫理・道徳の問題を現実において考察できるよう配慮した（第4号）。</p> <p>言語論や、我が国の伝統的な言語文化を扱った題材を採録し、興味・関心を喚起することができるようにした（第5号）。</p> <p>国際社会の平和と発展について考察を深めることができるよう、その理念や現状について述べた題材を採録した（第5号）。</p> <p>「評論のしるべ」「文学のしるべ」を適宜設定して、国内外の言語文化を解説し、興味・関心を喚起できるようにした（第5号）。</p>	<p>p438～440</p> <p>p230～237, p244～252, p266～276, p294～303, p396～403</p> <p>p286～287, p288～290, p291～293</p> <p>p442～454</p> <p>p230～237, p404～421, p422～437</p> <p>p238～243, p304～315, p356～368, p369～381, p404～421, p422～437</p> <p>p254～265</p> <p>p230～237, p277～285, p291～293, p316～354, p382～394</p> <p>P266～276, p382～394</p> <p>P369～381</p> <p>p253, p355, p395</p>
付録等	<p>「評論キーパーソン一覧」「評論キーワード一覧」「慣用句一覧」「学校系統図」「近現代文学史年表」および採録した題材の参考写真等を用意し、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、我が国や他国の言語文化に対する興味・関心を喚起できるよう配慮した（第1号・第5号）。</p>	<p>見返し, 口絵, p456～461, p462～463, p464, 折込</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」等の規定を踏まえ、各教材の最後に「学習」として課題を用意し、発表や話し合いを含む多様な学習活動を設定した。教材の主題に対する理解を深め、自らの考えを的確に表現する能力を養うとともに、生徒相互の意見交流を通じて、多角的で客観性のある批判的思考能力を養えるよう配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-95	高等学校	国語科	現代文 B	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	現 B 339	高等学校 改訂版 現代文 B		

<p>1. 編修上特に意を用いた点や特色</p> <p>1. 学習指導要領の総則に示す教育の方針や教科としての「現代文 B」の目標を達成するために、次のような配慮をし、ふさわしい教材を用意した。</p> <p>(1) 単元構成、教材選定などにおいては、教育現場の意見・要望を尊重し、学習指導の実態に即応できるよう考慮した。「国語総合」における指導内容をさらに推し進め、文章を的確に読み取り、論理的に思考し、自身の考えを効果的に表現する能力を高められるように内容を精選した。</p> <p>(2) 生徒が自主的・主体的に学習活動を行うことにより、言語文化の理解・享受を通して、自発的・創造的な人間形成に進むことができるよう考慮した。</p> <p>2. 「3 内容」について、次のような配慮をし、ふさわしい教材を用意した。</p> <p>(1) 「指導事項」については、近代以降に書かれた文章の中から、人間、社会、自然などに対する筆者や登場人物の思想・感情を読み味わうことで、生徒の考えを深め、発展させることができるものを教材として選定し、学習内容が十分に達成できるようにした。また「オ 語句や語彙と、文章の推敲に関する指導事項」に配慮し、身に付けておくべき表現を「注意する語句」として教材ごとに整理した。</p> <p>(2) 「言語活動例」については、読むことの学習と関連させながら行うことができるよう配慮したほか、主として「言語活動」を通してまとまった学習ができるよう工夫した。</p> <p>ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。主として各教材の「学習」「言葉と表現」に話し合い等の活動を適宜設定し、教材と有機的に関連させながら行うことができるよう配慮した。</p> <p>イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。「意見文の書き方」(p452)「要約のしかた」(p454)「意見文の書き方」「要約のしかた」として、筆者の中心的な主張を捉えるための手順や、論の展開における基本的な形を示すことで、生徒が文章の構成や論理性を評価する能力を身に付けられるよう配慮した。加えて、各教材の「学習」「言葉と表現」に意見発表等の活動を適宜設定し、教材と有機的に関連させながら行うことができるよう配慮した。</p> <p>ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。「創作の楽しみ・短歌と俳句」(p146)「研究発表のしかた」(p450)「創作の楽しみ・短歌と俳句」では、短歌・俳句を音読し、実際に作ることによって、表現のしかたを考えたり創作活動を行ったりすることの契機となるよう配慮した。また「研究発表のしかた」としてさまざまな研究発表の方法を紹介し、自身の考えを表現するために適した方法を選択できるよう考慮した。</p> <p>エ 文章を読んで関心をもった事例などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。「情報の探し方」(p442)「報告文(レポート)の書き方」(p448)「研究発表のしかた」(p450)「意見文の書き方」(p452)情報検索の方法や効果的な報告文のまとめ方、まとまった文章を書く手順や論の構成、口頭での発表における注意点などを解説し、調べたことをまとめて発表するうえでの助けとなるよう考慮した。</p> <p>3. 「4 内容の取扱い」について、次のような配慮をし、ふさわしい教材を用意した。</p> <p>(1) 総合的な言語能力を養うため、話すこと・聞くこと、書くこと及び読むことについて相互に密接な関連を図り、効果的に指導するようにする。主として各教材の「学習」「言葉と表現」に、読み取った内容や自分の考えを文章にまとめる活動や、発表・話し合いなどの活動を取り入れ、各領域の能力を有機的に関連させながら高められるよう配慮した。</p> <p>(2) 生徒の読書意欲を喚起し、読書の幅を一層広げ、文字・活字文化に対する理解が深まるようにする。「ブックガイド」(p216)「ブックガイド」(p438)各章の最後に、採録した評論教材のテーマや内容と関連する書籍を紹介した「ブックガイド」を設け、生徒の興味・関心を喚起できるようにした。また、各教材の最後には教材の原典紹介を用意した。加えて、「評論のしるべ」「文学のしるべ」を適宜設定し、教材に関連する内容を扱った著作を紹介することで、読書の幅を広げ、活字文化に対する理解を深めることができるようにした。</p> <p>(3) 近代以降の文章や文学の変遷について、必要に応じて扱うようにする。巻末の折込に「近現代文学史年表」を用意し、明治以降の主な評論・文学作品と作者を紹介するとともに、採録した教材を色字で示し、作品の歴史的な位置づけを学習できるように配慮した。また、「評論のしるべ」「文学のしるべ」を適宜設定し、文章や文学の変遷を時代の流れに沿ってテーマ別に示すようにした。</p> <p>(4) 教材は、近代以降の様々な種類の文章とする。その際、現代の社会生活で必要とされている実用的な文章を含めるものとする。また、必要に応じて翻訳の文章や近代以降の文語文などを用いることができる。「実用の文章」(p220)主として取材記事を採録し、事実を伝える文章の特徴を考えさせることで、レポートや報告書などを作成する際の手掛かりが得られるよう考慮した。</p>

2. 対照表

学習指導要領の内容		指導事項					言語活動例					配 当 時 数
		ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。	イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。	エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。	オ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。	カ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辭などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。	ク 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	ケ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	コ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。	カ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	
図書の内容	簡所(ページ)											
「自明性の畏」からの解放	8~15	○	○	○		○		○				
自他の「間あい」	16~21	○	○	○	○	○		○				
山月記	22~34	○	○	○		○	○		○	○		
文学のしるべ①	35		○									
「私」中心の日本語	36~41	○		○	○	○		○				
日本人の「自然」	42~50	○		○	○	○		○				
評論のしるべ①	51	○		○								
わたしが一番きれいだったとき	52~55		○				○	○		○		
ちがう人間ですよ	56~58		○				○	○		○		
永訣の朝	59~63		○				○	○		○		
存在としての建築	64~71	○		○		○		○				
手の変幻	72~78	○	○	○	○	○		○				
評論のしるべ②	79	○		○								
こころ	80~106		○	○			○	○			○	
文学のしるべ②	107		○									
タオル	108~117		○	○			○	○		○		
働かないアリに意義がある	118~126	○		○		○		○		○		
消費社会とは何か	127~135	○	○	○	○	○		○		○		
「集合知」という考え方	136~144	○		○	○	○		○				
評論のしるべ③	145	○		○								
創作の楽しみ・短歌と俳句	146~153		○				○			○		
動的平衡	154~162	○		○		○		○				
トランス・サイエンスの時代	163~172	○	○	○		○		○				
評論のしるべ④	173	○		○								
葉桜と魔笛	174~183		○	○	○	○	○					
文学のしるべ③	184		○									
バグダッドの靴磨き	185~197		○			○	○	○		○		
「グローバル化」の中の異文化理解	198~205	○		○		○		○				
連帯という言葉の意味	206~214	○		○	○	○		○				
評論のしるべ⑤	215	○		○								
ブックガイド①	216~219	○	○	○								
注連縄一つつましく貧しく清楚な形	220~221	○		○								
東京タワー—揺れる天空で決死の塗装	222~224	○	○							○		
ノーベル賞 vs. イグ・ノーベル賞	225~228	○	○							○	○	
写真の持つ力	230~237	○	○	○			○			○		
未来世代への責任	238~243	○	○	○			○			○		

学習指導要領の内容		指導事項						言語活動例				配 当 時 数	
		ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。	イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。	エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。	オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辭などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。	カ 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	ク 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	コ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。	ケ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したリ報告書や論文集などに編集したりすること。	キ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したリ報告書や論文集などに編集したりすること。		
図書の内容	図書の構成・内容 箇所(ページ)												
檸檬	244～252		○				○	○					
文学のしるべ④	253		○										
骰子の七の目	254～265	○	○	○			○	○					
言語が見せる世界	266～276	○		○	○		○		○	○			
いのちのかたち	277～285	○	○	○			○		○				
足と心	286～287		○				○	○		○			
冬の日	288～290		○				○	○		○			
自然の背後に隠れて居る	291～293		○				○	○		○			
身体の個性	294～303	○		○			○		○				
目に見える制度と見えない制度	304～315	○		○			○		○				
舞姫	316～354		○	○	○		○	○	○	○			
文学のしるべ⑤	355		○										
リスク社会とは何か	356～368	○	○	○	○		○		○				
コスモポリタニズムの可能性	369～381	○		○	○		○		○				
枯野抄	382～394		○	○	○		○	○		○	○		
文学のしるべ⑥	395		○										
幼なじみたち	396～403		○	○			○	○					
現代日本の開化	404～421	○	○	○	○		○		○				
「である」と「する」こと	422～437	○		○	○		○		○				
ブックガイド②	438～440	○	○	○									
情報の探し方	442～447				○							○	
報告文(レポート)の書き方	448～449				○							○	
研究発表のしかた	450～451				○					○		○	
意見文の書き方	452～453				○					○		○	
要約のしかた	454	○								○			
											計		